

秩父・皆野新校準備委員会（第1回）議事録

日 時 令和5年2月6日（月）13：30～15：10

会 場 県立秩父高等学校図書館2階研修室

出席委員 臼倉委員長・町田副委員長・川窪副委員長・金田委員・飛川委員
 嶋田委員・三橋委員・安藤委員・松本委員・堀口委員・大沼委員
 小菅委員・浦島委員・若林委員・田島委員・横田委員・佐藤委員

協 議 「秩父・皆野新校基本計画検討（案）」について

○ 主な意見・質問・回答

No.	主な意見・質問・回答
1	<p>再編整備の必要性については理解している。各市町議会において反対の声があったと思うが、どう対応したのか。</p> <p>（回答）</p> <p>中学校卒業者数の減少を踏まえると、適正な学校規模を維持していくために、再編整備が必要だと判断している。議会からの意見書に対して回答という形はとっていない。新校準備委員会で御意見、御要望をいただきながら、地域の皆様の声を拝聴しながら進めてまいりたい。</p>
2	<p>基本方針について、秩父の地域性はどうしたのかという素朴な疑問を抱いた。「グローバル」ではなく「ローカル」で秩父ならではの学習をするのが現実的なのではないか。どんな生徒に来てもらいたいのかははっきりわかるような具体的なものを掲げられるのが望ましい。</p>
3	<p>少子化が進む中、秩父以外の地域から人を集めていかなければならない。アニメを打ち出すことでこの地域の少子化に歯止めをかけるというのも一つの案なのではないか。秩父の売りは観光。「観光」と「アニメ」。これが一つの策ではないか。もちろん進学校としての秩父高校の要素も大事である。参考にしてもらいたい。</p>
4	<p>埼玉県と秩父地域の市町が一緒にやっていける具体的な取組があると良い。</p> <p>また、地域、地域と言い過ぎると、秩父地域だけで狭く終わってしまう可能性もある。秩父地域の中学生が減っているのは事実で、このままではいずれまた同じような問題が出てくる。いかに外からも呼び込むかというのが一つの課題である。</p>
5	<p>子供たちが行きたいと思えるような学校にしてほしい。地域では、「国際に関する学科」がピンときていない。地域の子供たちが望んでいることは、伝統あ</p>

	<p>る地域の進学校である秩父高校と、地域に根付いた実践的な教育で地域の人材を輩出してきた皆野高校の取組を継承した学校である。基本計画をしっかり練り上げることが重要である。</p>
6	<p>選択する子供たちがどんな学校を望むのか、中学生の声を大切にしてほしい。</p>
7	<p>今年度から秩父市と秩父高校で協議し、「総合的な探究の時間」を充実させるべく、地域連携に力を入れている山陰地方の高校の例を参考に、「地域おこし協力隊」として外部人材を受け入れ、地元の企業等と調整しながらどんな取組ができるか検討している。</p>
8	<p>教科指導の基本方針の論点にある「遠隔授業の検討」とはどういったことか。</p> <p>(回答)</p> <p>物理的な空間を超えて「国際に関する学科」を設置する3校が同じコンテンツで学びを深められれば良いと考えている。また、現在の和光国際高校には外国語科があり海外からの留学生や海外に留学している生徒もいる。海外の情報などを共有できると良い。</p>
9	<p>現在、多くの大学では総合型選抜が主流になっている。こういった時代背景の中、あまり「進学」に特化し過ぎず、総合的な人間力を育成していくという観点で教科指導の内容を検討していただきたい。</p>
10	<p>生徒指導の基本方針の論点に「多様性の尊重」とあるが、具体的なイメージはあるのか。</p> <p>(回答)</p> <p>多様な属性があり、それをお互いに認めていこうということである。それぞれの個人を尊重する生徒指導を考えていきたい。</p>
11	<p>「進学校」を看板にし過ぎると、意外と優秀な中学生が敬遠してしまうということがある。「子供たちの夢を叶える学校」という視点が大事なのではないか。</p>
12	<p>なかなか学校になじめない生徒が全国的に増えていると思う。新校をつくっていく際には、そういった生徒もいるということを念頭に置いてほしい。</p>
13	<p>子供たちが安心して居られる場所、自立できる学校、それをサポートしてくれる学校にしてもらいたい。</p>
14	<p>カリキュラムが検討されていると思うが、教員の配置の方は大丈夫なのかという素朴な疑問がある。教員採用試験の倍率も年々下がっており、なり手不足が深刻化している。</p> <p>(回答)</p> <p>例えば、新しい学びを指導できるように教員を研修に出させるということをやっている。また、場合によっては外部のリソースを活用することも考えていく必要がある。</p>
15	<p>地域に残って農業や伝統産業をやっている人は、一度地域を出ていろいろな世界を見て戻って来ることが多い。「地域を大切に」という視点と「グロー</p>

	バル」の視点をどうつなげていくのか、基本理念を考える上では十分に踏まえる必要がある。
16	子供たちの意見を委員会として受け取り、丁寧に学校づくりを進めていくことが大事である。
17	他県では、地域の方と協力し、地域の学びを中心とした学科を設置した学校もあった。その取組は大学との連携で成功している。そういった先行事例も参考にできると良い。
18	グローバル人材を育成するためには、多様な価値観を尊重する必要がある。そのためには対話をしながら（価値の）ズレを埋めていくプロセスが重要である。それが地域を大切にすること、子供たちが未来に希望を持って生きることにつながる道筋になる。ズレを認めた上で乗り越えるというモデルを子供たちに見せていただきたい。
19	開校準備を進めるに当たっては、良い環境で生徒が学べるよう配慮してもらいたい。